更生医療の対象となる医療例

障害区分等	医療等の例	
肢体不自由	関節置換術・関節形成術・骨切り術・抜釘術・義肢装具装着のための断端形成術・手術後のリハビリなど	
視覚障害	角膜移植術・水晶体摘出術、硝子体切除術・網膜剥離術など	
音声、言語、そしゃく機能障害	外傷性（顎口蓋形成術・外傷性発音構語障害の形成術など）薬物や暗示療法	
内臓障害	じん臓機能障害	人工透析療法・腹膜透析（CAPD）・シャント作成術・じん移植術・じん移植後の抗免疫療法
	心臓機能障害	弁置換術・心房（室）中隔欠損閉鎖術・経皮的冠動脈形成術・冠動脈バイパス術・ペースメーカー埋込み術・大動脈人口血管置換術など
	小腸機能障害	中心静脈栄養法など
	肝臓機能障害	肝臓移植術・肝臓移植術後の抗免疫療法
免疫機能障害	抗HIV療法・免疫調整療法	

注意

上の表はあくまでも医療例です。医療例に該当しても一般治療にあたる場合は該当となりません。更生医療は「身体上の障害を有する者であって確実なる治療効果が期待しうるもの」を対象としていますので、障害の除去もしくは軽減の見込みがなければ給付対象外です。